

「施設・設備等の教育環境」に係る自己点検・評価書

基準7-1：専門職学位課程の教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備並びに図書、学術雑誌等の教育研究上必要な資料が整備され、有効に活用されていること。

(1) 観点ごとの分析

観点7-1-① 専門職学位課程の教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備（例えば、講義室、演習室、実習室、教員室等が考えられる。）が整備され、有効に活用されているか。

(観点到る状況)

教職大学院専用の教育研究施設として、演習室（44 m²）8室及び多目的演習室（87 m²）を備えた教職大学院棟を整備しており、授業をはじめ、学生への指導・学校支援に係る協議及び連携協力校等との事前の打合せの場として活用している（別添資料7-1-①-1）。

また、指導教員が各自の教員研究室18室（340 m²）の他に演習室等17室（616 m²）と共同利用スペース3室（68 m²）を使用しており、ゼミの演習室及び院生の学習室、授業準備等資料室として活用している。

教職大学院の院生研究室は、平成25年度時点では7室（320 m²）あり、一部が分散配置されていることが課題であったが、解消に向けて、平成28年度、29年度に既存施設を活用して増設、配置換えを行い、現在は2つの研究棟に9室（379 m²）を集約して配置している（資料7-1-①-A）。学生一人ひとりの個人机を備え、1人当たり2.8 m²のスペースを確保している。

(資料7-1-①-A) 教職大学院院生研究室一覧

	棟名	室番号	面積	在籍者数
1	自然棟	102	50 m ²	121人
2	自然棟	116	40 m ²	
3	自然棟	316	38 m ²	
4	自然棟	401	25 m ²	
5	自然棟	503	38 m ²	
6	自然棟	516	22 m ²	
7	美術棟	208	83 m ²	15人
8	美術棟	403	52 m ²	
9	美術棟	411	31 m ²	
合計			379 m ²	136人

(出典 「平成30年度院生研究室保有面積状況」)

(観点的達成状況についての自己評価：A)

教職大学院専用の教育研究施設として、教職大学院棟に各種演習室を整備しているほか、各指導教員の教員研究室、学生一人ひとりの個人机を備えた院生研究室を確保しており、授業や学生指導、各学生の学習等に活用されている。また、院生研究室の一部が分散配置されていた課題について、既存施設を活用して増設、配置換えを行い、解消に取り組んでいる。

以上のことから、本観点を十分に達成していると判断する。

観点7-1-② 自主的学習環境（例えば、自習室、グループ討論室、情報機器室等が考えられる。）が十分に整備され、効果的に利用されているか。

（観点到に係る状況）

教職大学院の学生の自主的学習環境として、院生研究室を9室設置しており、学生一人ひとりに専用の机が配置されるとともに、LAN環境が整備されている。学生は各自でPCを持ち込み、自習又はグループ討議の場として活用している。

（資料7-1-①-A再掲）

学生1人当たりの専有面積は2.8㎡であり、十分なスペースを確保している。

また、全学的なスペースとしては、授業及び大学行事等に支障がない場合に講義室1室（講201教室：170㎡、158席）を自習室として開放しているほか、附属図書館内に12箇所の閲覧席及び自主学習スペース（計554㎡、約302席）を設けており、大学会館2階談話スペース「POTATO」（63㎡、約20席）、講義棟1階学生ホール（80㎡、42席）、図書館1・2階談話スペース（計259㎡、約55席）も自主学習に利用することができる。これらを合計すると、自主学習スペースは計1,336㎡、約686席（学部・大学院の学生数の54.6%分に相当）（資料7-1-②-A）となるが、これらのスペースが学生に十分認知されていなかったことから、学生から「利用可能な演習室の一覧を作成し、ポータルサイト等で表示していただくとより円滑に演習室を利用できると思う」（「大学院学生協議会からの要望書」（平成30年度））という声が寄せられていた。

このため、次年度以降の「履修の手引」及び「学生手帳」等に「自主学習スペース一覧」（資料7-1-②-A再掲）を掲載し、学生への周知と利用の促進を図る予定としている。また、附属図書館・POTATO等のスペースが自習室として充実されていることから、利用可能時間が不明確な自習室（講201教室）を整理する予定である。

（資料7-1-②-A）自主学習スペース一覧

	名称	場所	面積	席数
1	学生ホール	講義棟1階	80㎡	42席
2	講201	講義棟2階	170㎡	158席
3	POTATO	大学会館2階	63㎡	約20席
4	ライブラリーホール ※入館ゲート外	附属図書館1階	128㎡	43席
5	lime ※入館ゲート外	附属図書館2階	131㎡	約23席
6	melon（旧情報交流ゾーン）	附属図書館2階	51㎡	32席
7	lemon（旧リフレッシュゾーン）	附属図書館2階	57㎡	約38席
8	閲覧席（8箇所）	附属図書館1～3階	357㎡	196席
9	マルチメディアコーナー	附属図書館2階	30㎡	9席
10	情報交流ゾーン	附属図書館2階	59㎡	27席
11	教育情報訓練室1	第2講義棟2階	112㎡	約50席
12	教育情報訓練室2	人文低層棟2階	98㎡	約48席
	合計		1,336㎡	約686席

(出典 施設課・教育支援課・学術情報課)

(観点の達成状況についての自己評価：A)

学生の自主的学習環境として、教職大学院の院生研究室を9室確保しているほか、全学的には、講義棟、附属図書館、大学会館等に計1,336㎡、約686席の自主学習スペースを設けている。これらのスペースは学生に十分認知されていないという課題があるが、活用に向けて、次年度以降の「履修の手引」及び「学生手帳」等に「自主学習スペース一覧」を掲載して学生に周知を図る予定としている。

以上のことから、本観点を十分に達成していると判断する。

観点7-1-③ 教育現場に即した実践的な研究を行う上で、図書館等において、図書、学術雑誌、視聴覚資料、その他専門職学位課程に必要な資料が系統的恒常的に整備され、有効に活用されているか。

(観点に係る状況)

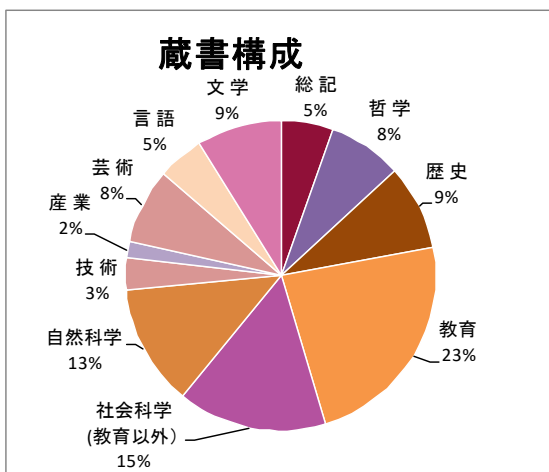
附属図書館の所蔵資料は、平成29年度末で図書が367,690冊(うち視聴覚資料約5,400点を含む)、雑誌が4,586種、電子ジャーナル導入タイトルが約7,800タイトルである(資料7-1-③-A)。図書は、教職を含む教育学分野を中心に教科に関係する全ての分野を継続収集している(資料7-1-③-B)。学校現場で利用され、かつ実践的な研究に必要な教科書・教師用指導書については、重点的に収集しており、小・中学校の教科書はすべての出版社のものを購入している。教科書・教師用指導書は、入口ゲートのある2階にコーナーを作り現行分をまとめて配架し、利用の便宜を図っている。過去分についても同じ2階に置き、教科書の比較研究にも容易に利用できるようにしている。

(資料7-1-③-A) 附属図書館所蔵資料数(平成29年度末)

区分	計
図書	367,690冊
視聴覚資料	5,443点
雑誌	4,586種
電子ジャーナル	7,875タイトル

(出典 学術情報課)

(資料7-1-③-B) 蔵書構成



(出典 上越教育大学概要 2018)

教職大学院における実践型の教育・研究においては、各学校等における実践報告・実践研究の成果を共有していることが重要であることから、上越市及び周辺市内の小・中学校が刊行する研究紀要を学校教育実践研究センターでデジタル化したものを閲覧に供している。また、従来から発行している「上越教育大学研究紀要」とは別に、平成25年度から新たに「上越教育大学教職大学院研究紀要」を発行し、「上越教育大学リポジトリ」（資料7-1-③-C）に掲載して内外に発信している（平成29年度における論文等の新規登録件数179件、ダウンロード件数432,775件）。さらに、平成26年度から、新潟県教育委員会と連携・協力して「新潟県教育実践研究リポジトリ」を運用し、新潟県内の小・中・高等学校の教員等による実践研究の成果を社会に提供している（平成29年度における論文等の新規登録件数1,923件、ダウンロード件数51,742件）。

（資料7-1-③-C）上越教育大学リポジトリ

The screenshot shows the homepage of the University of Utsunomiya Repository. At the top, there is a search bar with the text '上越教育大学リポジトリ' and a search button. Below the search bar, there are navigation tabs for 'トップ' and 'ランキング'. The main content area displays a list of indexed items under the heading 'インデックスリスト'. The items are categorized by year and type, such as '010 学術論文 [231件]', '020 紀要 [1107件]', '030 学内刊行物 [1314件]', '040 学位論文 [37件]', '050 報告書 [98件]', '070 本学教員が関係する学協会・研究会 [107件]', '080 事務局 [21件]', and '090 その他 [172件]'. On the right side, there are several informational panels: '上越教育大学リポジトリとは', '運用方針・申請書類', and '関連リンク'. The '運用方針・申請書類' panel includes links for '上越教育大学リポジトリ運用方針', '上越教育大学リポジトリ登録申請書', and '上越教育大学学位論文利用確認書'. The '関連リンク' panel includes links for 'CiNii Articles - 日本の論文をさがす', 'JAIRO: Japanese Institutional Repositories Online', '新潟県教育実践研究リポジトリ', '教育系サブジェクトリポジトリ', and '新潟県地域共同リポジトリ'.

（出典 <https://juen.repo.nii.ac.jp/>）

附属図書館の開館時間は、授業期間の平日は9時～22時（土曜日、日曜日及び祝日は11時～17時）であり（資料7-1-③-D）、平成29年度の開館日数は351日である。平成29年度の教職大学院学生の附属図書館入館者数は延べ6,258人、貸出冊数は4,917冊であり、附属図書館は有効に活用されている（資料7-1-③-E）。

（資料7-1-③-D）附属図書館開館時間

区分	通常	休業期間
月曜日～金曜日	9時～22時	9時～17時

土曜日・日曜日・祝日	11時～17時
------------	---------

(出典 上越教育大学概要 2018)

(資料7-1-③-E) 専門職学位課程学生利用状況

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
入館者数	5,790人	4,332人	4,611人	8,373人	6,258人
貸出冊数	2,428冊	3,588冊	4,142冊	5,930冊	4,917冊

(出典 図書館業務システム)

(観点の達成状況についての自己評価：A)

附属図書館では、教職を含む教育学分野を中心に教科に関係する全ての分野の図書を継続的に収集しており、特に教科書・教師用指導書について重点的に収集している。また、実践型の教育・研究に資するため、上越市及び周辺市内の小・中学校が刊行する研究紀要のデジタル化による提供や、「上越教育大学教職大学院研究紀要」の発行及び「上越教育大学リポジトリ」での発信、新潟県内の小・中・高等学校の教員等による実践研究の成果の「新潟県教育実践研究リポジトリ」での発信を行っている。平成29年度の教職大学院学生の附属図書館入館者数は延べ6,258人、貸出冊数は4,917冊であり、多くの学生が附属図書館を活用している。

以上のことから、本観点を十分に達成していると判断する。

(2) 長所として特記すべき事項

学生の自主的学習環境として、教職大学院の院生研究室を9室確保しているほか、全学的には、講義棟、附属図書館、大学会館等計1,336㎡、約686席の自主学習スペースを整備している。